

かとう かずひこ
 絵画教室 ウニアトリエ 代表 **加藤 和彦** 氏

大人が自由にアートを楽しめる 居心地のいい場所を提供したい



PROFILE

1968年新潟市生まれ。多摩美術大学絵画科油画専攻を卒業後、神奈川県を中心に美大受験予備校、社会人絵画教室、美術系高校デザイン科CG講師などを務める。2017年社会人に特化した大人の絵画教室ウニアトリエを創業。自宅で学べるオンライン絵画教室を開設。

- ・中学校教諭第一種美術科免許
- ・高等学校教諭第一種美術科・工芸科免許
- ・Google ストリートビュー認定フォトグラファー
- ・JAPAN MENSA 会員

ウニアトリエは「趣味で絵を始めたい」初心者から経験者まで通う、大人に特化した絵画教室。自宅で学べるオンライン教室やYouTubeの動画配信など、これまでにない取組を行っている加藤代表にお話を伺いました。



絵画教室 ウニアトリエ

〒950-0982
 新潟市中央区堀之内南3丁目4-10
 TEL 025-384-4562
<http://uniatelier.net>
<https://www.youtube.com/c/uniatelier>

ウニアトリエの由来：Unique, Universal, Unitedの3単語にatelierをくっつけた造語。uniatelier…ウニを連想する面白さや可笑しさを楽しむ遊び心が、アトリエのイメージにピッタリなことからネーミング。

私を育ててくれたのはこれまで
出会ってきた生徒さんたち。
みなさんに支えられたおかげで、
ここまで続けてこられたと
思っています



レッスンは1クラス5名の少人数制。個々のレベル、目的に合わせたオーダーメイドカリキュラムで、初心者でも鉛筆の持ち方などデッサンの基礎から教えてもらえるので安心だ。

長年の絵画指導歴を活かし 新潟で絵画教室を起業

中学生以上から社会人を対象にした絵画教室ウニアトリエは、20年以上の絵画指導歴を持つ加藤代表が2017年に開設。東京から新潟に戻り、職業訓練で受けたWebクリエイター養成コースの実習先で創業補助金に関するパンフレットをもらったのが、起業を考えるきっかけだった。「補助金申請に必要な事業計画にお墨付きをもらえれば、自信を持って事業を始められるという思いもありました。いくつかの公的機関に相談し、最後に県の補助金申請でお世話になったのが新潟商工会議所さんです」と話す加藤代表。開業後も経営や経営について相談し、その都度アドバイスをもらっているという。「一番活用しているのが商工会議所主催のセミナーです。特に集客やWeb、ネットに関するセミナーは出来る限り参加していて、とても役に立っています」。

若い世代や男性が多いのが特徴。 YouTubeも積極的に活用

ウニアトリエでは生徒のレベルに合わせて少人数制で指導。趣味として絵画を学ぶ生徒がほとんどだが、中には漫画家志望やプロのイラストレーター、背景画家もいるという。「生徒さんの年齢層は30代と20代が多く、男性は約4割。以前、講師をしていた横浜の教室は8割が女性で年齢層も高かったので、若い方や男性が多く来てくれるのは予想外でした」。

また、2018年から公式YouTubeチャンネルで、デッサンのレクチャーや作品講評などの動画をほぼ

毎日配信。現在の登録者数は約10,500人だが、「今は93%が日本語の視聴者。今後は英語圏の視聴者が50%を超えるのが夢です」と話す。

「また来たい」と思ってもらえる 教室を目指して

「あることで悩んでいた方が、気晴らしのためにここに通い始めたら、徐々に元気を取り戻して絵を描くことも好きになっていきました。もちろん本気で絵が上手になりたいという生徒さんはいませんが、ここにはさまざまな理由で絵を始めた方も多いです。そういう方々にとって居心地のいい場所を作りたい。また来たいと思ってもらえる教室を目指しています」。

YouTubeの効果で糸魚川や湯沢に加え、県外から通う生徒も出てきたが、「これからは全国どこにいても自宅で授業が受けられるように、オンライン教室の生徒さんも増やしていきたいですね」。新潟は美術愛好家人口全国トップクラスの県、絵画サークルは多いが指導者が少ないことから、次世代のプロを育てていきたいという加藤代表。今後も現代のテクノロジーを活用しながら、誰もが自由にアートを楽しめる環境づくりを進めていく。



「肩に力を入れず、コーヒーでも飲みながら絵を描くのが楽しい」と加藤代表は話す